

環境活動レポート

2023年度

2023年4月1日～2024年3月31日

1. 組織の概要	P.2
2. 対象範囲	P.2
3. 環境管理実施体制	P.3
4. 環境方針	P.4
5. 基準年の環境負荷と環境目標及び環境目標の実績	P.5 - P.6
6. 環境活動計画及び環境経営計画に基づき実施した取組内容、 並びに取組結果とその評価及び次年度の取り組み内容	P.7 - P.8
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P.9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.9

2024年10月7日改定

1. 【組織の概要】

(1) 事業所名及び代表者氏名

日進ステンレス株式会社

代表取締役社長 沼澤 亮一

(2) 所在地

本 社 神奈川県川崎市川崎区東田町 6 丁目2番

小倉倉庫 神奈川県川崎市幸区小倉5丁目11番19号

駒岡倉庫 神奈川県鶴見区駒岡2丁目13番地3号 (2023年4月開設)

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 蛭田 伸明

担当者 横山 春佳

連絡先 044-223-2981

F A X 044-223-2985

e-mail n.hiruta@nissin-st.co.jp

(4) 事業活動の内容

本社：半導体製造装置用・特殊ガス配管用ステンレス鋼管卸売

小倉倉庫： 同上

駒岡倉庫： 同上

(5) 事業の規模

資本金 2,000万円

売上高：2,842百万円(2023年度)

	本 社	小倉倉庫、駒岡倉庫
従業員数(人)	14	4
延床面積(m ²)	281	1,301

日進ステンレス小倉倉庫



2. 【対象範囲】

(1) 認証・登録対象組織

本社及び小倉倉庫、駒岡倉庫(所在地は1.(2)に記載)

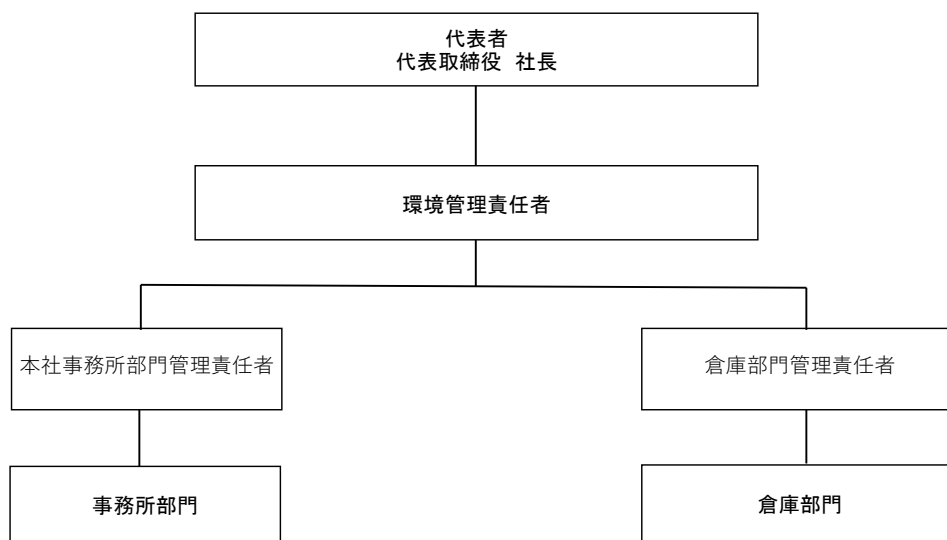
*駒岡倉庫は2023年新設置

(2) 認証・登録対象活動

本社及び小倉倉庫、駒岡倉庫で行う事業活動(半導体製造装置用・特殊ガス配管用ステンレス鋼管卸売)

3. 【環境管理実施体制】

環境管理実施体制表



役職	責任および権限
代表取締役社長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定 6. 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 7. 効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定め、全従業員に周知する。
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるE A 2 1 EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
事務所・倉庫部門	1. 環境経営システムの方針、実施計画を各部門で実施、維持、継続的改善 2. 環境上の緊急事態への準備及び対応

4. 【環境方針】

環境経営方針

基本理念

日進ステンレスは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、よき企業市民として、より良い環境の創造に向けた活動に積極的に関与することで社会的責任を果たしてまいります。

環境方針

1. 事業活動に於いて、環境に与える影響を的確に把握し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、管理プログラムを設定しこれを実行すると共に定期的な見直しを行い、環境汚染防止及び環境保全活動の継続的改善・向上を図ります。

2. 環境保全に関する法規制及び受け入れを決めたその他の要求事項を遵守し、一層の環境保全に取り組みます。

3. 保全活動を推進するため、全ての組織及び従業員が活動できる環境管理組織を整備します。

4. 事業活動の中で、特に以下の項目について優先的に保全活動を推進します。

①環境保全活動

事業活動における電力をはじめとする諸エネルギーの使用削減に努めます。

②オフィスにおける環境負荷の低減

オフィスで使用する電気使用量の削減、廃棄物の削減、水使用量の削減に努めます。

③廃棄物の削減

資源の有効利用と廃材の再資源化を図り、廃棄物を削減します。

④節水活動

水の使用を出来る限り抑え、排水量を削減します。

⑤ガソリン及び軽油使用量の削減

なるべく公共交通機関の利用を心がけ効率的な営業・配送ルートを考えエコドライブに努めます。

⑥調達資材のグリーン購入を積極的に行います。

⑦事業活動において世界的な環境規制指令に取り組み環境配慮に努めると共に、お客様に環境配慮の活動を提案します。

5. 環境教育を実施し全社員が環境方針の遂行にあたり環境に関する意識向上を図ると共に取引先への環境方針を周知し理解と協力を要請します。

2012年5月30日制定

2023年7月11日改定

日進ステンレス株式会社

代表取締役社長 沼澤 亮一

5. 【基準年の環境負荷と環境目標及び環境目標の実績】

環境目標	基準年度	2023年度			中期環境目標		
	2022年度	年度目標	年度実績	達成区分	2024年度	2025年度	2026年度
1. 全体のCO2 排出量	20,233 kg-CO ₂	2022年度 実績値-1%削減 20,030 kg-CO ₂	23,695 kg-CO ₂	×	2023年度 実績値-1%削減 23,460 kg-CO ₂	2024年度 実績値-1%削減 23,228 kg-CO ₂	2025年度 実績値-1%削減 22,998 kg-CO ₂

(本 社)

環境目標	基準年度	2023年度			中期環境目標		
	2022年度	年度目標	年度実績	達成区分	2024年度	2025年度	2026年度
①電力 使用量削減	13,396 kWh	2022年度 実績値-1%削減 13,260 kWh	19,177 kWh	×	2023年度 実績値-1%削減 18,985 kWh	2024年度 実績値-1%削減 18,795 kWh	2025年度 実績値-1%削減 18,607 kWh
②ガソリン 使用量削減	1,394 L	2022年度 実績値-1%削減 1,380 L	975 L	○	2023年度 実績値-1%削減 965 L	2024年度 実績値-1%削減 1,366 L	2025年度 実績値-1%削減 1,352 L
廃棄物 ①一般廃棄物 排出量の削減	294 k g	294 k g	240kg	○	294 k g	294 k g	294 k g
上水使用量の削減 (m ³)		策定なし	—	—	節水	節水	節水
グリーン購入 の推進	70%	70%以上	75%	○	70%以上	70%以上	70%以上
自らが販売・提供する製品及びサービスに関する項目	RoHS指令証明書の保管提供 100%	100%	100%	○	100%	100%	100%

* 電力消費量のCO2排出係数は0.442(kg-CO2/kwh)にて算出しております。

* 化学物質の取り扱いはありません。

(小倉倉庫)

環境目標	基準年度	2023年度			中期環境目標		
	2022年度	年度目標	年度実績	達成区分	2024年度	2025年度	2026年度
①電力 使用量削減	18,248 kWh	2022年度 実績値-1%削減 18,066 kWh	16,786 kWh	○	2023年度 実績値-1%削減 16,618 kWh	2024年度 実績値-1%削減 16,452 kWh	2025年度 実績値-1%削減 16,287 kWh
②軽油 使用量削減	1,165 L	2022年度 実績値-1%削減 1,153 L	861 L	○	2023年度 実績値-1%削減 852 L	2024年度 実績値-1%削減 844 L	2025年度 実績値-1%削減 836 L
廃棄物 ①一般廃棄物 排出量の削減	236kg	236kg	231 kg	○	236kg	236kg	236kg
廃棄物 ②産業廃棄物 排出量の削減	—	193kg	105.5kg	○	193kg	193kg	193kg
上水使用量の削減 (m³)	55m³	95m³	45m³	○	55m³	55m³	55m³

* 電力消費量のCO2排出係数は0.442(kg-CO2/kwh)にて算出しております。

* 化学物質の取り扱いはありません。

(駒岡倉庫)

環境目標	基準年度	2023年度			中期環境目標		
	2022年度	年度目標	年度実績	達成区分	2024年度	2025年度	2026年度
①電力 使用量削減	— kWh	2022年度 実績値-1%削減 — kWh	7,488 kWh	—	2023年度 実績値-1%削減 7,413 kWh	2024年度 実績値-1%削減 7,339 kWh	2025年度 実績値-1%削減 7,266 kWh
上水使用量の削減 (m³)	—	— m³	26m³	—	24m³	24m³	24m³

* 電力消費量のCO2排出係数は0.442(kg-CO2/kwh)にて算出しております。

* 化学物質の取り扱いはありません。

**6. 【環境活動計画】及び【環境活動計画に基づき実施した取組内容】
並びに【取組結果とその評価及び次年度の取組内容】**

環境活動計画	取組結果の評価と次年度の取組内容
1. CO2削減	・CO2排出量削減の取り組みは実施したが、事務所移転、新倉庫開設、人員増などの業務拡大により達成できなかった。次年度以降も、経営の足かせにならない範囲で継続して削減に努める。 ・事務所移転、新倉庫開設、人員増等の業務拡大により数値が大幅に変化した。従って、以降2023年度を基準年度とし本年度は数値の積上げの年とする。

(本 社)

環境活動計画 (取組内容)	取組結果の評価と次年度の取組内容		環境活動計画に基づき実施した取組内容
	取組結果と次年度の取組内容	評価	
①電力使用量の削減 ・昼休み消灯 ・事務作業の効率化	・取組内容は実施したが、本社事務所移転により、104.3m²の増床となり電力の使用量も増加となった。大幅なCO2排出量削減は難しいが引き続き削減努力を継続する。 ・次年度取組も可能な限り節電を行う	○	① 昼休時消灯含む不要時の消灯徹底 長時間離席時、OA機器等のスイッチOFF ② 書類送付郵送からPDF化しメール送付等事務作業の効率化に務めた
②ガソリン使用量削減 ・燃料向上運転の励行 ・運行表の管理 (含 ガソリン購入量管理)	・燃費を意識した運転により、目標達成。 ・次年度も燃費向上意識を徹底する。	○	① 運転前に効率的な運行計画に基づいたルートの確認 ② 運転時 ・急発進・急停車・空ぶかしの禁止 ・アイドリングストップの遵守
2. 廃棄物 ①一般廃棄物排出量削減 ・新規購入用紙類の管理	・順調に取組が進み、目標達成。 ・次年度取組も、可能な限り行う。	○	① 廃棄物の分別の徹底 ② 用紙等残余資材のリユース、リサイクルの推進
3. グリーン購入の推進 ・事務所・倉庫での消耗品及び調達資材の対象把握とグリーン調達可否対象の把握	・消耗品のグリーン調達に努めた。	○	① 対象期間で消耗品グリーン調達可否調査実施出来る限り環境物品等を選択した
4. 自らが販売・提供する製品及びサービスに関する項目 ・RoHS指令証明書の保管提供100%	・RoHS指令証明書の保管提供は実施した - 次年度も継続。	○	① RoHS指令証明書の保管提供は100%実施した。

社内全体のco2排出量は未達成となった。

(小倉倉庫)

環境活動計画 (取組内容)	取組結果の評価と次年度の取組内容		環境活動計画に基づき実施した取組内容
	取組結果と次年度の取組内容	評価	
①電力使用量の削減 ・昼休み消灯 ・事務作業の効率化	・取組内容は実施した。新たに倉庫が増えたことにより小倉倉庫の電力は減少した。しかし、駒岡倉庫も含めた倉庫全体では大幅な目標未達である。引続き削減努力を継続する。 ・次年度取組も可能な限り節電を行う。	○	① 昼休み消灯含む不要時の消灯、必要のない場所の消灯徹底。 ② 長時間離席時、OA機器の電源OFFまたはスリープ。
③軽油使用量削減 ・燃費向上運転の励行 ・運行表管理 (含 軽油購入量管理)	・燃費を意識した運転により、目標達成。 ・次年度も燃費向上意識を徹底する。	○	① 運転前に効率的な運行計画に基づいたルートの確認 ② 運転時 ・急発進・急停車・空ぶかしの禁止 ・アイドリングストップの遵守
2. 廃棄物 ①一般廃棄物排出量削減 ・新規購入用紙類の管理	・順調に取組が進み、目標達成。 ・次年度取組も、可能な限り行う。	○	① 廃棄物の分別の徹底 ② 用紙等残余資材のリユース、リサイクルの推進
3. 倉庫の上水使用量の管理 ・洗車、洗濯時の節水	・必要最低限の使用と考えるが施策は次年度も同様。	○	① 洗車時など水の出しっぱなし禁止 ② トイレの大小の使い分け

(駒岡倉庫)

環境活動計画 (取組内容)	取組結果の評価と次年度の取組内容		環境活動計画に基づき実施した取組内容
	取組結果と次年度の取組内容	評価	
①電力使用量の削減 ・昼休み消灯 ・事務作業の効率化	・新たに倉庫が増えたことにより使用する電力が増加。大幅なCO2削減が難しい状況であるが引続き削減努力を継続する。 ・次年度取組も可能な限り節電を行う。	○	① 昼休み消灯含む不要時の消灯徹底 ② 長時間離席時、OA機器の電源OFFまたはスリープ
3. 倉庫の上水使用量の管理 ・洗車、洗濯時の節水	・必要最低限の使用と考えるが施策は次年度も同様。	○	① 洗車時など水の出しっぱなし禁止 ② トイレの大小の使い分け

○：目標達成、×：目標未達

*電力消費量のCO2排出係数は0.442(kg-CO2/kwh)にて算出しております。

*化学物質の取り扱いはありません。

7. 【環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無】

適用される主な環境関連法規等は、2024年3月31日付けで確認した結果は下記のとおりである。

関連法規のとりまとめ表の要求事項と監視測定項目

No	法的要求事項等の名称	適用条項	監視・測定項目 (適用施設・業務等)	監視・測定プロセス、 使用機器等	評価 状況
1	廃棄物の処理及び清掃 に関する法律 (小倉倉庫、駒岡倉庫)	法12条2 則第八条一ロ 法12条5,6,7 令第6条の2 法12条の3、3の2項、3の6項、法 12条の5 法6条の2の4項	廃プラスチック類 金属くず、ゴム屑、 ガラスくず及び陶器くず 事業系一般廃棄物	掲示板 委託契約書 電子マニフェスト (有)宇佐美に委託	○ ○ ○ ○
2	川崎市廃棄物の処理及 び再生利用等に関する 条例	条例第26条	事業系一般廃棄物	ビル管理委託	○
3	家電リサイクル法	特定家庭用機器再商品化法	エアコン、テレビ、冷蔵庫 洗濯機、電気冷凍庫	廃棄時の適切な 処理	○
4	フロン排出抑制法	法第16条 第一種特定製品の管理	スポットクーラー	廃棄時の適切な 簡易点検の実施	○

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

8. 【代表者による全体評価と見直しの結果（見直実施日 2024年8月30日）】

(1) 変更の必要性の判断

2024年度についても、環境方針・環境目標・環境活動計画・環境経営システム・実施体制のいずれについても変更の必要性は無いと判断する。

2023年度は削減努力により燃料、一般廃棄物は抑えることが出来た。

引き続き現在の目標値として実施した上、2025年に向けてデータを積み上げる年とする。

(2) 指示の内容

2023年度について、「本社 電力使用量の削減」「小倉倉庫 電力使用量の削減」とともに目標数値が未達成となった。

本社での電力使用量の未達に関し、23年9月、事務所移転により敷地面積の増加、人員増が大きな要因となった。倉庫についても新たに倉庫が増えたことにより増加。24年度は業務に支障をきたさない程度に削減努力に向け、目標達成するよう指示を行った。

(3) 全体評価

今年度の環境経営目標及び環境経営企画の実績・取組効果により、目標を達成した項目もあるが本社事務所移転、新倉庫開設EA21の主な環境活動で削減目標としている本社「電力」・倉庫「電力」が未達成となった。

結果、全社のco2排出量が未達成となった。

本社事務所移転により、104.3㎡の増床となり電力の使用量が増加。大幅なco2排出量削減は難しいが引き続き削減努力を継続する。

新倉庫設置により、693.0㎡の増床となり電力の使用量が増加。こちらも同様に大幅な削減は難しいが引き続き削減努力を継続する。

来年度以降も環境方針及びシステム管理を推進し、目標達成に向け引き続き環境活動に取り組む。

(4) 活動の実績

本社

燃費向上運転の指導及びエコドライブの実施に努め、なるべく公共交通機関を使うよう心掛けて行動する。

水の使用は最低限の生活用水に限定して使用。

各従業員が達成項目について、目標意識を持ち、目標達成に向けco2排出量の削減に努める。

倉庫

燃費向上運転の指導及びエコドライブの実施に努め、効率的な配送経路を心掛ける。

水の使用は最低限の生活用水に限定して使用。

一般廃棄物は再利用を心掛ける。

経営の足枷にならない範囲で二酸化炭素の排出量削減に努める。